

令和2年度 水運用(実務)研修《2.5日間コース》

月 日	時 間	科 目
第1日目 (開催期 日は下記 参照)	8:30～	受付 【場所：中村ウォータープラザ1階会議室】
	8:50～	開講式・オリエンテーション
	9:00～ 9:30	水運用概論（計画編） 水運用に関する基本計画について理解します。
	9:40～ 10:10	水運用概論（管路の改良・更新編） 配水管におけるダウンサイジング等の取組について理解します。
	10:20～ 11:10	水運用概論（全体管理編） 「全市的な水運用」についての基礎知識の習得を目指して行う研修です。東日本震災節電時の水運用対応についても紹介します。
	11:20～ 14:30 (途中昼 休憩60 分)	水運用概論（配水管理編） 水運用に関する「配水池からの水運用」について、これまで実務で携わった写真等を多く使用して解説し実務に反映できる研修です。横浜市での実際の申請書類等作成についても紹介します。
	14:40～ 15:50	水運用計画の留意点（事故事例：原因と対策方法ほか） 過去の実際の事故事例の原因と対策方法等を中心に説明を行う、実務に役立ち事故防止に繋がる研修です。
16:00～ 16:40	水道施設管理マッピングシステム概要 水道施設管理マッピングシステムにより膨大な水道施設図面を管理しています。システムの概要を説明します。	
第2日目 (開催期 日は下記 参照)	8:30～ 9:00	受 付 【場所：中村ウォータープラザ1階会議室】
	9:00～ 10:00	水理学概論（実験等含む） 水理学に関する必要な基礎知識等について実験も含めて行いますので理解を深めることができます。
	10:10～ 12:00	管網解析研修 管網解析は計画論での活用方法について多くの文献がありますが、現場の実用レベルを論ずる文献は皆無に等しい状況です。本研修ではこれまでの実務で培った経験を基に、管網解析で一番重要な解析結果の「読解力」を身に付けるべく、例示を使って学習をします。
13:00～ 16:30	管網解析演習 実際に水運用計画を策定するにあたり、管網解析を行う上での着眼点、留意点について、演習を行いながら知識を習得します。	

第3日目 (開催期 日は下記 参照)	9:00~ 9:20	受付 【場所：中村ウォータープラザ1階会議室】
	9:30~ 11:50	水運用関連実技実習【場所：中村管路研修施設】 ・水運用技術（系統切替作業操作等） ・感性向上実習（※水撃圧体感装置（特許取得済）） ・事故例の擬似実習（※管せん拔出）
	11:50~ 12:00	閉講式、解散

目的 本研修会は、横浜市水道局の管路研修施設等を利用して、実際にバルブ操作や系統切替作業等を体験することにより、水運用に係わる現場技術を修得するとともに、水理学及び水運用に関する基礎知識や事故事例、管網解析・計算等、水運用実務に必要な基礎知識を身に付けていただくことを目的とします。

研修対象 民間企業及び水道事業者技術系初級職員（水運用や管網計算の基礎を学ぶ方向け）

定員 20名

開催期日 及び 研修会場	開催期日	研修会場
	(前期) 6月16日、17日、18日	横浜市水道局中村ウォータープラザ、横浜市水道局管路研修施設（中村ウォータープラザ内）
	(後期) 10月20日、21日、22日	横浜市水道局中村ウォータープラザ、横浜市水道局管路研修施設（中村ウォータープラザ内）

受講料 1名 36,700円（消費税込み）

その他 研修2日目、管網解析演習に於いてPCを使用した演習が行われます。受講の際にはノートパソコン等をご用意ください。(Excel2016以上がインストールされたPCが必要です) 研修で使用するデータ等はお持ち帰りいただけます

実技実習日(3日目)は、作業服(必ず長袖)・安全靴(半長靴が望ましい)を持参して下さい。軍手・ヘルメットは主催者側で用意します。

講師 横浜市水道局職員

アクセス 中村ウォータープラザへは公共交通機関をご利用の上お越しください。(マイカーでの来場はできません。)